

渋谷発、人とメガネの新しい出合い方。

Flagship Store 「JINS 渋谷店」 5/26 (金) オープン

藤本壮介氏デザイン。カルチャーとメガネの融合を目指した新機軸の発信型店舗が渋谷に登場

株式会社ジンス (東京都千代田区、代表取締役社長：田中仁、以下 JINS) は、2017 年 5 月 26 日 (金) にアイウェアブランド「JINS (ジンス)」の Flagship Store として、東京・渋谷に「JINS 渋谷店」をオープンいたします。また、オープンと連動して同日より、アーティスト鈴木康広氏のアートを期間限定で展示いたします。



日本の流行の発信地・文化を
生み出す街「渋谷」に
JINS の Flagship Store を
出店

日本の若者文化の発信地として、様々な流行を生み出し時代を牽引し続けてきた東京・渋谷。常に新しい価値を生み出し変化し続けてきた渋谷同様、JINS もメガネを視力矯正のためだけのものに留めることなく、常に新しい価値を模索し拡張 (Magnify) してきました。常に先を見据え、新しいことに果敢にチャレンジしていく風土が、JINS のビジョンとリンクすると考え、ここ渋谷に新たな価値を提案する Flagship Store をオープンいたします。今後、同店舗でメガネと様々なカルチャーを融合させながらこれまでにない価値を生み出し、メガネを掛ける人も掛けない人にも楽しんでいただけるような発信型の店舗を創造していきます。

藤本壮介氏が手がける
これまでにない店舗空間
が完成

今回、設計は建築家の藤本壮介氏が担当。店内は、立体的に浮遊する巨大な木の造作が張り巡らされたシンプルながら迫力のあるデザインで見ると人の角度や視点によって表情を変える店舗となっております。また、情報の発信源である渋谷という街と同様、同店舗を基点に JINS の様々な情報を発信していくための新たな試みとして、2 階に可動式のイベントスペースを設置。今後、アートの展示や新商品の発売と連動したイベントなどを実施予定です。

イベントスペースに鈴木
康広氏のアートを展示/
渋谷店限定で雑貨の先行
販売を実施

イベントスペースを使用した店内企画の第 1 弾は、見る者に「見えない世界」への意識を喚起させるアーティスト鈴木康広氏による展示を開催。身近な“モノ”や“感覚”をテーマにしたアートを通じて、「いつもと世界が違って見える」そんなきっかけを提案する空間となっております。

また、今後一部店舗で展開予定のメガネ関連雑貨を同店舗で先行販売いたします。アーティストとコラボのラインアップは、金氏徹平氏が担当。様々なものをコラージュすることで生まれる“新しい見方”を追求したオリジナルのアイテムは必見です。

店舗概要

【店 舗 名】	JINS 渋谷店 (https://shibuya.jins.com)
【オ ー プ ン 日】	2017 年 5 月 26 日 (金)
【営 業 時 間】	10:00-21:00
【所 在 地】	東京都渋谷区宇田川町 31 番 1 号
【電 話 番 号】	03-3464-8070
【展 開 本 数】	約 1120 本
【店 舗 面 積】	107.8 坪 (1 階 48.97 坪、58.83 坪)

店舗詳細

店内は、立体的に浮遊する木の造作が張り巡らされ、見る人の角度や視点によって表情を変える店舗デザインに。



高さの違う木の造作が組み合わさることで、これまでにない新しい店舗が完成。



什器はシンプルでありながら機能的でプロダクトの美しさを引き出す設計に。



店舗2階に、様々な展示やイベントを展開できる JINS 初のイベントスペースを設置。



メガネお受け取りのお客様に待ち合いカウンターでオリジナルのジュースを無料で提供。

Oisix×JINS オリジナルジュース



JINS 渋谷店でメガネをご購入の方限定！

メガネのお受け取りまでの待ち時間に、採れたての新鮮野菜や果実を取り扱う「Oisix (オイシックス)」とコラボレーションした Oisix×JINS オリジナルのブルーベリージュースを無料で提供いたします。眼に良いと言われるブルーベリーをふんだんに使用したオリジナルジュースを是非店頭でお試ください。

建築家「藤本壮介 (ふじもとそうすけ)」



1971 年北海道生まれ。1994 年東京大学工学部建築学科卒業後、2000 年に藤本壮介建築設計事務所を設立。代表作に「House N (大分県、2008 年)」「武蔵野美術大学 美術館・図書館 (東京都、2010 年)」「House NA (東京都、2011 年)」「Serpentine Gallery Pavilion 2013 (ロンドン、2013 年)」などがある。

■主な受賞歴

(仮称)石巻市複合文化施設基本設計業務公募型プロポーザル 最優秀賞受賞 (2016)

Réinventer Paris 国際設計競技ポルトマイヨ・パーシング地区最優秀賞受賞 (2016)

エコール・ポリテクニク パリ・サクレキャンパス新研究棟国際設計競技 最優秀賞受賞 (2015)

Liget Budapest House of Hungarian Music (ハンガリー) 1 等受賞 (2014)

2014 年度 Wall Street Journal Architecture Innovator 賞受賞 (2014)

モンペリエ 国際設計競技 最優秀賞受賞 (2014)

店舗展示情報

身近な“モノ”や“感覚”をテーマにした鈴木康広氏の映像やインスタレーションを期間限定で展示。



2 階へとつながる吹き抜けには、透明のフィルムで隔てられた人の形をした空気を展示。



視点切り替えることで新たな発見が生まれる中央の穴だけくりぬかれたルーペ。

<数量限定！オリジナルノベルティ>

オリジナルメガネ拭き

冊子



オープン展示を記念し、JINS 渋谷店限定で鈴木康広氏が監修したオリジナルメガネ拭きと冊子をプレゼント。

アーティスト「鈴木康広 (すずきやすひろ)」



1979 年静岡県生まれ。2001 年東京造形大学デザイン学科卒。日常の見慣れた事象を独自の「見立て」によって捉え直す作品を制作。公共空間でのコミッションワーク、大学の研究機関や企業とのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。

代表作に、《遊具の透視法》(2001)、《まばたきの葉》(2003)、《空気の人》(2007)、《ファスナーの船》(2010)、《ルーペの節穴》(2017) など。2014 年水戸芸術館 鈴木康広展「近所の地球」、金沢 21 世紀美術館 鈴木康広「見立て」の実験室を開催。

2016 年「ロンドン・デザイン・ビエンナーレ 2016」に日本代表として出展。武蔵野美術大学空間演出デザイン学科准教授、東京大学先端科学技術研究センター中邑研究室客員研究員。2014 毎日デザイン賞受賞。作品集『まばたきとはばたき』

『近所の地球』(青幻舎)、絵本『ほくのにゃんた』(プロンズ新社)がある。

<先行販売> 雑貨概要

【商品名】	メガネ関連雑貨
【先行販売開始日】	2017年5月26日(金)
【ラインアップ】	メガネケース(大・小) 2型 6種: ¥1,000 (+税) ソフトメガネケース 2種: ¥1,200 (+税) セリート 5種: ¥800 (+税) ※アーティストラインのみ¥1,000 (+税) となります。 グラスコード 6種: ¥1,500 (+税) トートバッグ 2種: ¥3,500 (+税)

<先行販売> 雑貨詳細

メガネに関連する雑貨を先行で販売。“ベーシックライン”と“アーティストライン”をご用意。

アーティストライン (金氏徹平氏デザイン)



漫画の背景に描かれたモチーフを元にデザインされたメガネケースとメガネ拭き。



化粧品広告の液体をイメージして大量に反復させたというカラフルなシリーズ。

ベーシックライン

メガネケース



グラスコード



老若男女、シーンを問わずに使用できるベーシックなカラーで構成された雑貨もご用意。

アーティスト「金氏徹平 (かねうじてっぺい)」



撮影: 赤鹿麻耶 Maya Akashika

1978年京都府生まれ、京都市在住。2001年京都市立芸術大学在籍中、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(ロンドン)に交換留学。2003年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。現在、同大学講師。日常の事物を収集し、コラージュの手法を用いて作品を制作。一貫して物質とイメージの関係を顕在化する造形システムの考案と変容を試み、絵画、映像、写真など多様な表現形態を通して新しい彫刻のかたちを探求。個展「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、2016)、「四角い液体、メタリックなメモリー」(京都芸術センター、2015)、「Towering Something」(ユールズ現代美術センター、2013)、「溶け出す都市、空白の森」(横浜美術、2009)など国内外での展覧会のほか、舞台美術や装丁も多数。あうるスポットプロデュース「家電のように解り合えない」(2011)、KAATキッズ・プログラム2015 おいしいおかしいおしばい「わかったさんのクッキー」(2015-2016)での舞台美術をはじめ、「TOWER (theater)」(2017)では自身の映像作品の舞台化を手掛ける。